

研究発表もうしこみフォーム

氏名：青木隆浩

氏名のローマ字表記：Aoki Takahiro

所属：東京外国語大学大学院博士後期課程

専門分野：モンゴル語学、日モ対照言語学

発表のタイトル：モンゴル語の条件節語尾 **-хад** と日本語の条件節語尾「～（する）と」の対照研究

発表要旨（600字～800字程度）：

本発表の目的は、「時間節」を構成するとされるモンゴル語の「動詞形動詞形+“-д”」（以下、**-хад** 節）には、条件節「～（する）と」を表す用法があることを明らかにし、さらにもどのような条件で **-хад** 節は「時間節」や「条件節」を表すのかを、日本語との対照研究の観点から検討することである。

先行研究によると、日本語の条件節を表す「～（する）と」（以下ト節と呼ぶ）には、「1. 連続を表す用法」「2. 発見を導く用法」「3. 後件の行われる時を表す用法」「4. 後件の行われるきっかけを表す用法」「5. 因果関係を表す用法」があるとされている。そして、前件（ト節）の動詞が「～ている」という補助動詞がついて動作の継続を表したり、動詞自身が動作の継続・状態を表す場合には「時」を表し、前件（ト節）が後件に対して「働きかけ」をしたり「影響」を与えている場合には「時」の意味ではなくなる。

一方、モンゴル語の **-хад** 節を見てみると、日本語のト節と統語的特徴が類似していることがわかる。例えば、次の例文では、瞬間的動作を表す動詞に **-хад** が接続され、尚且つ前件が後件に働きかけ（誘発）していることがわかる。

(1) Чи яаж юу хийж байгаа ий энэ вэ? Гэж Гомбоос асуухад гөлийгөөд нэг ч үг хэлдэггүй юм байж. (“Бух гомбо”Ц.Дамдинсүрэн)

「おまえは何でこんなことをするんだ」とゴンボに聞くと、顔色一つ変えずに黙り込み、何も答えなかった。

また、次の例文では、継続性を表す動詞と **-хад** 節が共起し、尚且つ前件は後件に働きかけておらず、前件の動作は全くの偶発性であることがわかる。

(2) Намайг энд ирэхэд та зурагт үзэж байсан.

私がここに来たとき、あなたはテレビを見ていました。

本発表では、日本語の「ト節」の先行研究を参照しながら、モンゴル語の **-хад** 節の統語的特徴、意味的分類および共起する動詞のアスペクト的性質を考察していく。